

## 質問10. 薬剤師に望むことはありますか？

診療院所・	返書を要する連絡はTelしてほしい。
	在宅訪問管理の報告内容を簡潔に。
	常に薬剤情報を共有し、重複投与や投薬注意について教えてほしい。
	薬剤の説明時に、過剰な副作用の説明で内服されない方がいる。ある程度、包んだ言い方で説明してほしい。あるいは、処方内容に疑問があれば、主治医に連絡していただきたい。患者さんにあまり飲まない方がいいと説明されている場合もある。
歯科	投薬で副作用等、患者の症状について連携を取りたい。
	歯科との連携が取れると嬉しいですが、口腔内の重要性についてお伝えできればと思っています。
薬局	近隣の薬局との交流があると協力しやすくなると思う。
訪問看護	目的や名前など薬袋に記入してあると助かる。利用者個々の状態で、薬の出し方を検討してほしい。
	連携もよく取れ、大変助かっています。
	内服状況の確認
	在宅に対応できる薬局がまだ少ない印象、どうしても大きな薬局に依存する現状
	薬剤師と連携を取りたいと思うが、連絡可能な時間・曜日などを教えてほしい。
	いつも丁寧に対応していただくので特になし
病院関係者	在宅訪問薬剤管理指導について知りたい(どのような方が対象になるのか、相談先は?など)
	お薬手帳を活用してほしい。
	地域でどのような関わりを行えるのか、行われているのか教えてほしいです。入退院時の薬薬連携を進めてほしいです。多剤内服中の患者に対して薬剤師の視点で、減らせるケースがあれば医師へ働き掛けてほしいです。
居宅介護支援	概ね連携取れている。
	訪問時の状況や残薬等について教えていただくと助かります。
	療養管理をしている人については、経過等の情報が欲しい。
	利用者が服薬している薬の副作用、飲み合わせ、食べ合わせの情報を教えて欲しい。
	高齢の方への説明は分かりやすくしてほしい。薬袋は要望を確認して分かりやすい工夫をしてほしい。
	多くの病院にかかっている場合のお薬手帳での管理や怠薬のないようにまだまだ相談したい。
	内服のことはこれからも利用者に密接で重要なことであるため、積極的に連携をとっていきたい。
	在宅の服薬管理、月数回のみでの訪問でなく、居宅管理指導の真の在り方。
	普段どのようにして管理、服用しているのかの把握
利用者家族へ薬剤師の関わりを広げてもらいたい。(とても助っています)	
訪問介護	利用者の服薬の件で的確に指示を出してほしい。
	現在薬剤師さんとの連携は密に行っています。薬剤師の携帯に直接かけさせていただいたり、助かっています。
	サ高住併設なので施設相談員が関わることも多く、直接関わることはありません。
	地域ケア会議で薬の効果について少し話されたのがわかりやすかった。
高齢者施設	施設では飲み忘れがあったり、自分で飲めない利用者は確薬(職員が口に入れるところまで確認)している。在宅に退所が決まったら、本人家族が管理するため、残薬などの指導行ってほしい。
	残薬をしらべて報告すると調整して出してくださることもあります。(主に湿布薬など)
	薬の効能、飲み合わせ、服用する時間帯など小さなことでも相談に乗ってくださいます。
	実際の内服時の助言等いただいており感謝しています。
	お薬に関して当所まで来所して配薬や配達をしてもらっているのも身近でいろいろと尋ねることができるので助かっている。
薬への疑問等	
包括	地域ケア会議を通して、連携が図りやすくなりました。
	薬の管理ができていないなど情報があれば担当ケアマネへ連絡してほしい。
	東部地域はケア会議や語らん場にも参加して頂いており、ありがたいです。

質問10関連 薬剤師から他の職種に望むこと

病院・診療所	情報共有がスムーズにできること
	患者の服薬状況に問題がある場合、服薬しやすいような処方提案をさせて頂く事もあるかもしれません。その場合、是非ご検討を。
	提出した報告書に対するフィードバック
	薬が変更になった時ときなどの情報が欲しいです。
	コミュニケーションが取れる環境があるといいなと思う。
	入退院時の情報提供や引継ぎなどがケアマネを通して行われることがある。退院後に通うかかりつけ医が決まっているなら、薬局もわかるはずなので是非退院時カンファレンスなどに出席させてほしい。
	訪問ノート等の活用(全職種記入可能なもの)
	剤型変更後の変更がなされていない等
	もう少し連携がとりやすくなると有難い。
	病院で疲れて薬局で話されない方もいらっしゃいますので、処方の変更点・データの共有などメモがあると助かります。
歯科	情報共有がスムーズにできること
	患者の服薬状況を遠慮なく尋ねてほしい。お薬手帳の提出を促してほしい。
	訪問ノート等の活用(全職種記入可能なもの)
訪問看護	日々の患者様の様子を何かしらの方法で知りたい。
	患者や家族からの情報の収集と伝達
	薬剤師が訪問するのは、在宅の途中からだったりします。これまでに困っていた事、今後してほしいことなどあれば教えてほしいです。
	患者さんの状況を医師だけでなく、薬剤師にもご連絡下さるとありがたいです。(訪問ノート等の活用)
	これまでのように引き続き連携をとっていきたい。
	患者様宅を訪問された時の情報共有ができれば助かります。
病院関係者	退院時に外来に変わる場合、入院時の処方内容(又はお薬手帳に貼付)を薬局にも伝えるよう患者様に促してほしい。また、外来時の薬局への要望(一包化して日付も印字など)も知りたい。
	入院前、退院時カンファレンスにこれまでその患者に関わってきた薬剤師を参加させてほしい。
	退院時処方をお薬手帳に貼っていただいたら助かります。また病院で疲れて薬局で話されない方もいらっしゃいます。変更点、データの共有などメモがあると助かります。
居宅介護支援	薬局に対する要望をその度伝達できるシステムがあるといい。
	複数医療機関受診時の調整と伝達
	薬について薬局に声かけてほしい。(在宅などの訪問も)
	ケアマネさんによっては、在宅を頼む薬局を決めていたりする。これまで患者さんに関わってきた薬局薬剤師に先ず声をかけてほしい。一人薬剤師で動きづらい人もいるとは思いますが、患者さんとの関係性もあるので。
	訪問ノート等の活用
これまでのように引き続き連携をとっていきたい	
訪問介護	利用者の状態や諸々の注意点の把握
	何か薬剤師にしてほしいことがあれば言ってほしい。
	患者様の状態をより理解していることが望まれる。
	訪問ノート等の活用
代理でお薬を取りにみえた時、ご本人の様子を教えていただくと助かります。	
施設	訪問ノート等の活用
	施設入所者の薬を施設職員の方が取りにみえる時、ご本人の様子、情報を教えていただけたら助かります。